

指定区分	種別	現在の指定件数	指定文化財候補	時代	概要	備考	
有形文化財	絵画 彫刻 工芸品	絵画 3件	1	上依知妙傳寺 弁財天十五童子 像	室町時代	16世紀頃。絹本着色。 本紙80.7×34.7cm	・実物確認済み。 (R4.3会議)
			2	中依知蓮生寺 狩野惟信筆仏涅槃 図	江戸時代 中期	天明5年(1785)。木挽 町狩野派第7代の絵 師。225×145cm	・実物確認済み。 (H31.3会議後) ・事前に修理を行う予 定だったが、助成の 対象とならなかったた め、所有者の意向を 再確認する必要がある。 (R4.3会議)→対 応予定
			3	中荻野戒善寺 難波洞雪筆仏涅槃 図	江戸時代 中期	安永2年(1773)。下荻 野出身の絵師。藤原美 明と号す。師は狩野美 信。262m×237m	
			4	歌川国経筆美人 図	江戸時代 後期	享和(1801～1804)頃。 紙本肉筆画。上荻野齋 藤家出身の絵師。歌川 豊国門人。落款なし。 129.0×56.5cm	
			5	歌川国経筆大黒 天図	江戸時代 後期	享和4年(1804)。上荻野 齋藤家出身の絵師。歌 川豊国門人。伊勢原市 比比多神社絵馬は県 指定。126×54cm	
			6	岡本秋暉筆老松 三鶴図	江戸時代 末期	安政6年(1859)。紙本墨 画淡彩。小田原藩絵 師。大西圭齋門人。 69.0×68.0cm	
			7	岡本秋暉筆孔雀 図	江戸時代 末期	絹本着色。小田原藩絵 師。大西圭齋門人。 117.0×49.5cm	
		彫刻 13件	1	金田建徳寺 木造地藏菩薩立 像	南北朝時 代	寄木造。玉眼。白毫水 晶。像高96.4cm	・県博展示実績があ り、その際の調査によ り文化財的価値も認 められている。(R4.3 会議)→調査作成中
			2	金田建徳寺 木造大興禪師坐 像	南北朝時 代(室町 初期)	建徳寺開山大興禪師 (葦航道然)の頂相彫 刻。寄木造。玉眼。像 高51.0cm	
			3	寿町長福寺 木造阿弥陀如来 坐像	南北朝時 代末～室 町時代	寄木造。玉眼。像高 52.0cm。	
			4	関口大信寺 木造善導・円光 大師座像	室町時代 末～安土 桃山時代	脚部裏銘により天文14 年(1545)造立。寄木 造。玉眼。像高29.2cm・ 29.0cm	
			5	岡田法徳寺 木造聖徳太子立 像	室町時代 末～安土 桃山時代	台座裏銘「釈教信(当 寺開山、永正元年・ 1504没)所持」。寄木 造。玉眼。像高79.0cm	
			6	三田清源院 木造薬師如来坐 像	安土桃山 時代	天正8年(1580) 玉運淨 玄造立。寄木造。玉 眼。像高21.5cm	

指定区分	種別	現在の指定件数	指定文化財候補	時代	概要	備考	
有形文化財	絵画彫刻工芸品	彫刻13件	7	長谷福昌寺 木造閻魔王坐像	安土桃山時代	天正年間。寄木造。玉眼。元長谷観音堂所在。像高94.8cm	
			8	七沢観音寺 勢至菩薩	江戸時代前期	元禄2年(1689)頃。旧禅法寺本尊。胎内に尾張中納言家奉納品収納。像高305.5cm	
			9	船子観音寺 木造観音菩薩立像	平安時代後期	平安時代後期。寄木造。玉眼。像高162.5cm	
			10	中依知蓮生寺 木造小幡勘兵衛景憲像	江戸時代前期	寛文元年(1661)作製、宝暦13年(1763)再興。小幡景憲90歳の寿像。頭部のみ現存する。像高30.0cm	
			11	戸田福蔵院 木造阿弥陀如来坐像	鎌倉時代後期	鎌倉時代後期。寄木造。玉眼。像高54.2cm	
			12	岡田長徳寺 木造聖徳太子立像	南北朝時代末期	14世紀末。寄木造。像高113.0cm	
			13	下荻野子合地蔵尊保存会 木造地蔵菩薩坐像	室町時代	一木造。彩色。坐高18.3cm。総高38.0cm。	
	工芸品9件	1	早乙女家貞作鍔	安土桃山時代	安土桃山時代。雨龍図。銘「相州小田原住早乙女家貞」北条氏政の甲冑師。購入資料。9.0×8.3cm		
	建造物	15件	1	林福伝寺の板碑	鎌倉時代	弘安4年(1281)銘。市内最古の記年銘板碑。「相模守平時頼」の後刻がある。現存部高91.5cm、幅44.2cm。	
			2	愛甲円光寺宝篋印塔	鎌倉時代	建久3年(1192)銘。建久の年号は後年の改竄で、嘉元3年(1305)頃と推定される。愛甲三郎季隆の墓碑伝承がある。	
			3	愛甲宝積寺五輪塔	鎌倉時代末～南北朝時代	鎌倉時代末～南北朝時代。2基あり、1基は火輪を欠き、近世の石塔を転用される。愛甲三郎季隆の墓碑伝承がある。	
			4	金田キフネ社五輪塔	鎌倉時代	鎌倉期の造立。鎌倉石(凝灰岩)製。「キフネサマ」と呼ばれ、安産の信仰がある。総高129.5cm。	

指定区分	種別	現在の指定件数	指定文化財候補	時代	概要	備考	
有形文化財	考古資料	7件	1	ホウダイヤマ1号墳出土遺物	古墳時代前期	古墳時代前期。ホウダイヤマ1号墳(前方後円墳)の周溝内出土。壺形土器・埴・器台等。	
			2	小野公所遺跡第3地点1号墳出土遺物	古墳時代後期	6世紀末。鉄刀5点、鉄鏝3点、馬具(轡・辻金具)3点ほか。	
			3	飯山白山山頂出土資料一括	平安時代後期	平安時代後期。常滑三筋壺2点・和鏡3点。	
			4	七沢観音寺出土経塚資料一括	鎌倉時代	12世紀末～13世紀初頭。常滑三筋壺1点・白磁小皿1点・檜扇ほか。	
	歴史資料	1件	1	徳川家康関係資料	江戸時代	元和元年(1622)。茶臼・東照宮棟札。文政～天保期文書。	
	書籍・典籍	なし	1				
	古文書	古文書3件	1	大中郡上落合郷検地目録	安土桃山時代	天正20年(1592)3月。徳川氏の代官頭彦坂小刑部元正による検地目録。個人蔵。	
			2	長徳寺宛て豊臣秀吉禁制文書	安土桃山時代	天正18年(1590)5月。上落合長徳寺所蔵。	
			3	恩名・及川宛て豊臣秀吉禁制文書	安土桃山時代	天正18年(1590)4月。「相模国大中郡おんな及河」宛て。個人蔵。	
			4	厚木宛て豊臣秀吉禁制文書	安土桃山時代	天正18年(1590)4月。「相模国大中郡あつぎ」宛て。個人蔵。	
			5	山中藩陣屋用地絵図	江戸時代中期～後期	天明3年(1783)8月ほか。	
			6	相州大中郡三田郷検地帳	安土桃山時代	天正19年(1591)5月。	
			7	相州大中郡温水郷検地帳	安土桃山時代	天正19年(1591)8月。	
			8	相州大中郡恩名郷検地帳	安土桃山時代	文禄3年(1594)3月。	
9			三田村・下川入村境界論争争論幕府裁許絵図	江戸時代前期	寛文4年(1664)。		
10			松石寺境内及び上荻野村など九か村争論裁許絵図	江戸時代前期	貞享元年(1684)。		
無形文化財	芸能	なし					
	工芸技術	なし					

指定区分	種別	現在の指定件数	指定文化財候補	時代	概要	備考				
民俗文化財	有形民俗文化財	なし	1	堰神社所蔵白尉・黒尉面及び鈴	江戸時代	長谷座の人形芝居と淡路の人形との関係を示す資料として伝来。	・鉄砲差しの首のほか、道具全体の取扱いを協議する必要がある。(R4.3会議)			
			2	芝居衣装、面、道具	江戸時代後期～昭和期	愛甲萩原家所蔵資料。萩原家は芝居・神楽の衣装貸し及び元締め。				
			3	地芝居衣装、台本、道具	明治～昭和期	明治時代～昭和30年代。上萩野弥よ劇団寄贈資料。				
			4	七沢石の石工関連資料	明治～昭和期	七沢石の採掘加工道具類。	・優先して対応すべきである。(R4.6会議)→R5年度に整理作業を実施予定(予算調整中)			
			5	七沢観音寺の絵馬一括	江戸時代中期～昭和期	江戸時代中期～昭和期にかけて観音寺に奉納された絵馬44点。				
	無形民俗文化財	8件	1	妙傳寺のホーロク灸	江戸時代末～	江戸時代末に始まり、明治期に広まった。7月の土用丑の日に行われ、ムシ除け、ボケ防止、病氣治癒、腰痛治癒、健康回復の御利益があるとされる。				
			記念物	史跡	4件	1	七沢石丁場跡	江戸時代前期～昭和期	七沢の山中から産出し、各地に流通した七沢石の採掘場跡。	・広範囲かつ山中にあり、指定にあたっては、関係機関との調整を要する。(R4.3会議)
						2	小幡氏累代の墓	江戸時代	武田家の遺臣で、江戸幕府旗本小幡氏代々の墓。宝篋印塔等7基。中依知蓮生寺所在。	
						3	山角氏累代の墓	江戸時代	北条氏の遺臣で、江戸幕府旗本山角氏代々の墓。酒井法雲寺所在。	
						4	愛甲大塚古墳	古墳時代前期	伊勢原市との市境に所在する前方後円墳で、後円部が厚木市。前方部は削平により消滅。主体部は未調査。	・段取りを示すとともに、価値を具体的に証明することが最優先される。(R4.3会議)
5	吾妻坂古墳	古墳時代中期	下依知所在。道路拡幅工事による発掘調査で銅鏡、鉄剣等が出土。墳形は不明であるが、円墳と推定される。							
名勝	なし									
天然記念物	9件	1	関口510番地付近のカゴノキ		市内唯一の雌株のカゴノキ。					
		2	岡田三島神社のエノキ		樹高約25m、目通り周約3.6m。三島神社の神木。					